

2010年（平成22年）度 第2回理事会記録

日時：2010年（平成22年）3月27日（土）15:30~18:30

場所：岩手医科大学循環器センター10階 同窓会室

出席者：内山安男（理事長）、牛木辰男、岡部繁男、河田光博、藤本豊士（以上、常務理事）、明坂年隆、天野 修、井関尚一、岩永敏彦、小路武彦、小林 繁、坂井建雄、佐々木順造、佐藤洋一、仙波恵美子、寺島俊雄（以上、理事）、相磯貞和、渡辺雅彦（監事）、竹田 扇（常任幹事）天野恵子、中村 聡（以上、口腔保健協会）

欠席者：石村和敬（理事）

I. 理事長および第115回総会・全国集會会頭 挨拶

生理学会、薬理学会、生化学会との合同要望書を文部科学省の政務官に提出した旨を説明した。次に第115回大会の会頭である佐藤洋一理事から盛岡での本大会に関する挨拶があった。

II. 議事録署名人の選任

第2回理事会の議事録署名人として小林繁、佐々木順造の両理事を推薦する旨の提案がなされ、承認された。

III. 会議記録の確認

(1) 2009年（平成21年）度第5回理事会記録、摘録、同議事録（案）

(2) 2010年（平成22年）度第1回理事会記録、同議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告（岡部庶務担当理事）

(1) 年会費納入状況について（長期未納者の除名について）

長期未納者の名簿が理事の間で回覧され、未納者に対する除名処分に就いて説明があった。

(2) 外科手術手技トレーニングの報告書について

資料に基づいて坂井理事より説明があり、今後ガイドラインの制定を行う事が報告された。また、献体を医師のトレーニングに使用する事に対する篤志献体連合会会員の意見が紹介された。岡部理事より、解剖学会としては将来計画WG、解剖体委員会、倫理委員会の委員長をガイドライン制定の際の委員として派遣する予定である事が報告された。

(3) 将来計画に関するワーキンググループ中間答申について

資料に基づいて昨年10月から始まったWGでの中間答申に関して説明がなされた。これを受けて今年度末までに修正して行く旨が内山理事長より報告された

(4) その他

資料に基づいて教授就任にともなう3名分の学術評議員申請書の内容が説明された。

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

(1) その他

ASI、解剖学雑誌共に順調に刊行されている旨が報告された。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当兼任理事）

(1) 第115回日本解剖学会総会・全国学術集會の準備状況について

資料に基づいて報告があった。佐藤理事（大会長）から謝辞が述べられた。

(2) 日本医学会選挙結果について

会長（高久文磨氏）、副会長人事が決定した事、2011年総会は矢崎義雄会頭が東京で行なう事、2015年は京都地区で開催される予定である事、が報告された。

(3) その他

生科連での活動に関する報告がなされ、今後の生科連の活動は地学関係の学会連合（Japan Geographic Association）をロールモデルとして行なう方針である事が報告された。

4. 会計報告（牛木会計担当理事）

(1) 平成22年度中間決算書について

資料に基づいて説明がなされた。名簿収入は前年度会計で未収金という事で処理し、これを反映させた修正を施してある旨が説明された。

V. 審議事項

1. 平成21年度事業および業務監査報告について

岡部常務理事より総会資料に基づいて説明が行なわれ、学術集會開催状況以下6件に関する審議が提起され満場一致で承認された。平成21年度決算および業務監査報告について牛木理事より資料に基づいて説明が行なわれた。解剖学会の資産、一般会計、解剖学振興基金の会計、会費納入率（80%以上）などがほぼ予定通りである事が紹介された。次に、当期の活動費、次期

繰越金、赤字の内訳が説明され、主に名簿刊行費に係る部分で赤字が生じた事が説明された。更に渡邊監事から会計監査に関する細目の説明があり、終身会員からの繰入金金額を変更する事で赤字解消をしたい旨の提案があった。内山理事長からこれらの提案の審議が提起され満場一致で承認された。また、同理事長から賛助会員の増加に協力して欲しい旨の依頼があった。

2. 平成22年度予算および事業計画について

牛木理事より資料に基づいて平成22年度予算について、また岡部理事より22年度事業計画について説明が行なわれた。科研費が採択されなかった場合の予算の組み替えに関する説明がなされた。また法人化移行に伴うWG開催が多かったため、委員会運営費が増大した事が説明された。更に、第115回大会後の報告書提出を可及的速やかに行なって欲しい事が依頼された。以上の審議事項は満場一致で承認された。

3. 平成22年度総会・学術評議員会資料について

岡部理事より資料に基づいて本年度計画の骨子が従前と大きく変わらないことが説明され、満場一致で承認された。追加として将来計画WGの報告を倫理委員会の報告後に行ないたい旨が提案され、承認された。内山理事長から物故会員に関して確認が促された。

4. 一般社団法人への移行と定款案について

岡部理事より資料に基づいて説明が行なわれた。一般社団法人を選択した理由が説明された後で、移行スケジュールと「社員たる資格」(第12条)に関して詳しい説明があった。前者に関しては最も順調に移行した場合で2010年12月の認可となる事、後者に関しては基本的に現在の「学術評議員」がこれに相当する事、がそれぞれ確認された。以上を受けて3件の質疑応答があったあと、移行のスケジュールおよび定款案について満場一致で承認された。

5. 奨励賞選考委員会の人選について

河田理事より資料に基づいて選考委員の半数改選の提議がなされ満場一致で承認された。

6. 奨励賞規約改正案について

河田理事より資料に基づいて応募者資格の年齢に関して「申請年の4月1日において39歳未満のものとする」という変更がなされた事が報告された。また、HPでの奨励賞公募を行なう事も提案された。以上が満場一致で承認された。

7. 次回役員会の日程について

2010年12月11日(土) 14:30~16:30 場所:八重洲倶楽部 が提案され承認された。

8. その他

- ・事務局より会費未納者に知己がある場合納入を促して欲しい旨が依頼された。
- ・「人体の不思議展」に関する要望書に関して、その後の経過に関して小林理事から質問があり、本大会会期中に開催される倫理委員会で審議する旨の回答が岡部理事よりなされた。また、本件には解剖学会は一切関係していない事が内山理事長より確認された。
- ・寺島理事より定款案の誤植の指摘があった(条文番号に第11条が抜けている点)。これに対して第12条以下の番号を順に繰り上げる事が岡部理事より説明され、承認された。
- ・仙波理事より今後の支部会や地方会の抄録に関する解剖学会の方針に関して質問があり、岡部常務理事から説明が行なわれた。また、抄録の内容が特許取得と関係する場合は、抄録提出時にどのような発表形式を希望するかを各人に確認する方法がよいという提案がなされた。

上記の2010年度(平成22年度)第2回理事会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2010年(平成22年) 月 日

社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人